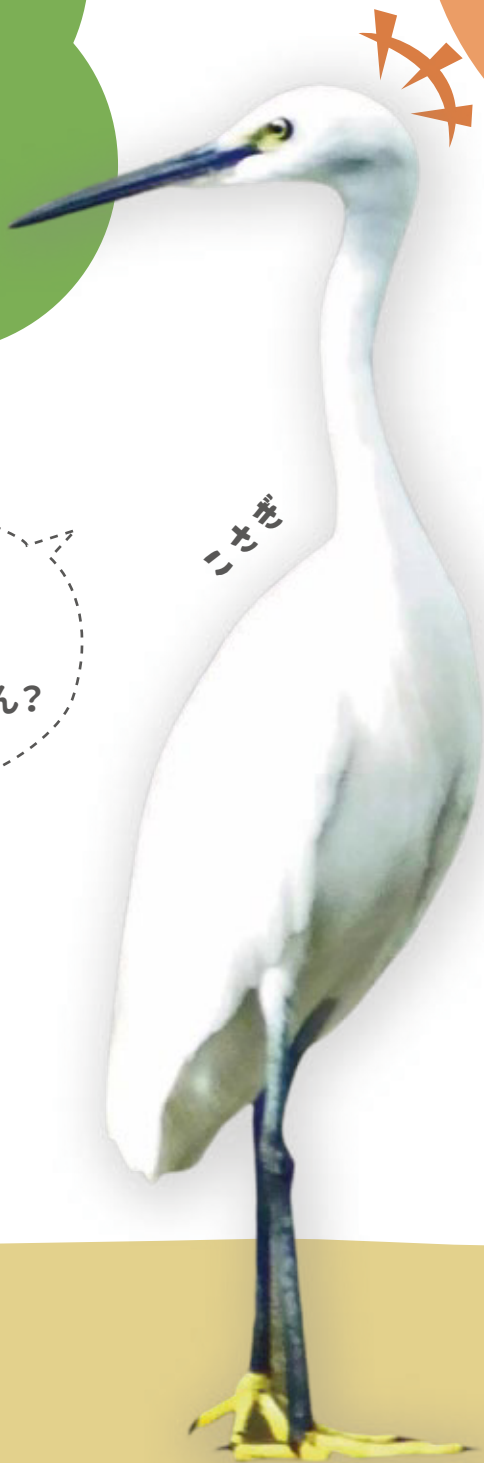


あだちの 野鳥

区内で会える野生の鳥たち

この本を持って、
近くの公園に
おでかけしません？



はじめに

足立区では、年間を通して約70種類もの野鳥を観察
することができます。

いつも散歩しているあの道も、何気なく通り過ぎて
いるあの公園も、実は野鳥たちの憩いの場所かもしれ
ません。



この冊子を持って、

足立区内の野鳥を探しに、さあ出かけましょう！

もくじ

| | | |
|---|---|----|
|  | やちょう ほか せいぶつ かか 野鳥と他の生物との関わり | 4 |
|  | やちょう あだちの野鳥のために まも かんさつ 守ろう! 観察マナー | 5 |
|  | へ 減りつつある あだちの野鳥 | 6 |
|  | くない 区内のバードウォッチングポイント | 8 |
|  | バードウォッチングの基本 | 12 |
|  | み やちょう あだちで見られる野鳥 | 13 |
|  | さくいん | 29 |

やちよう ほか せいぶつ かか
野鳥と他の生物との関わり

みなさんは「食物連鎖」という言葉を知っていますか？
 一口に野鳥といっても、その生態は様々。野鳥は、その種類によって捕食者にも被食者にもなるのです。
 野鳥は他の動物や植物と、繋がりがあって生きています。



あだちの野鳥のために 守ろう！観察マナー

野鳥と人間がWIN²(ウィンウィン)な関係であるために、
観察する際は自分本位ではなく、次のルールを守って観察
しましょう。

1 餌付けをしない

「近づいてみたい」、「いい写真が撮りたい」などの理由で、過度に餌付けをする行為はやめましょう。餌付けによって、自分で餌が取れなくなる個体もいます。

2 鳥との距離を保とう

適切な距離は鳥によって異なりますが、鳥が逃げたらストレスを与えている証拠です。撮影・観察するために近づき過ぎないようにしましょう。

3 繁殖期には巣に近づかない

特に抱卵や給餌の時期は巣に近づきすぎではいけません。親鳥が危険を察知して巣を放棄してしまう可能性があります。

- ※1 親鳥が卵を抱き温めること
- ※2 親鳥が幼鳥に餌を与えること



幼鳥に給餌するツミ



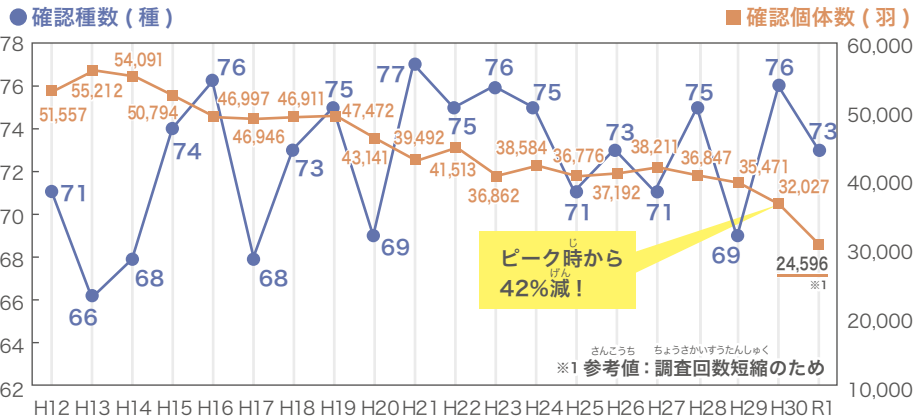
チョウゲンボウの幼鳥

減りつつある あだちの野鳥

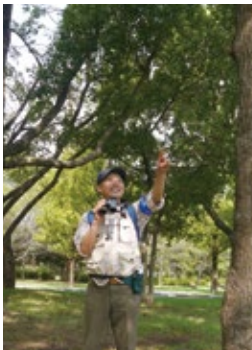
足立区では、平成4年度から区内を40のブロックに分けて種数・個体数等を調査する「足立区野鳥生息調査」を継続して実施しています。

■種数はほぼ横ばいも個体数は減少傾向（足立区野鳥生息調査より）。

平成13年度と平成30年度を比較すると確認個体数が約42%減少しています。



■足立区野鳥生息調査を担う、「野鳥モニター」になろう



足立区野鳥生息調査は約40人の「野鳥モニター」のご協力により実施しています。

野鳥モニターとは？

- 区内担当地域で野鳥の生息調査をするボランティア。
- 年間6回（奇数月）調査を行う。
- 欠員が生じた場合（原則として年度末）「あだち広報」や区のホームページで募集する。

■あだちの野鳥のために、あなたにもできる、こんなこと

ひごろ せいかつ つぎ あだちく やちよう
日頃の生活で次のようなことを心がけ、足立区の野鳥を
まも
守っていきましょう。

1 ペットは最後まで 責任を持って飼おう

とり かぎ
鳥に限らず、どんなペットでも
さいご せいじん
最後まで責任をもって飼いま
しょう。むやみにペットを野生
しな せいたいけい
に放つと、生態系のバランスを崩
おそ
してしまふ恐れがあります。

2 足立区を野鳥の 住みやすい街にしよう

にわ
庭やベランダのちょっとしたス
ペースに、はな き みずくさ
花や木、水草などを
そだ たり
育てることで、鳥の食べものを
ふ
増やすことができます。

3 地球にやさしい か 買ひ物をしよう

かんきよう はいりょ しょうひん えら
環境に配慮した商品を選ぶこと
ちきゅう かんきよう まも やちよう
も、地球の環境を守ること、野鳥
まも つな さゆう
を守ることに繋がります。左右の
マークも、しょうひん えら さい
商品を選ぶ際の目印に
なります。



しんりん せいたいけい ほ
▲森林や生態系などの保
ぜん ぎび きじゆん み
全など、厳しい基準を満
たした農園のみ与えら
れる「レインフォレスト・
アライアンス認証マーク」



てきせつ かんり しん
▲適切に管理された森
りん もくざい せいひん
林の木材から製品がつ
くられていることを示
す「FSCマーク」

くない
区内の

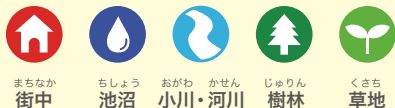
バードウォッチングポイント

区内には多くの公園があり、様々な野鳥を観察することができます。
その中から、代表的な公園をご紹介します。



区内のバードウォッチングポイント

ポイントの特徴



観察できる主な野鳥



1 舎人公園 (舎人公園、西伊興町ほか)



区内1番の観察スポット

一年を通じて区内で、1番多くの野鳥が観察できる。時には1日30種以上を確認できることも。観察しやすい「バードサンクチュアリ」もある。



2 桑袋ビオトープ公園 (花畑八丁目2番2号)



生きもののオアシス

生きものが集まるハス田、浮島を備えたビオトープを整備。自然解説員も常駐している。双眼鏡の貸し出しもある。



3 神明六木遊歩道 (六木三丁目52から神明一丁目12)



古木に響く鳥のさえずり

江戸時代に植えられたケヤキやスダジイなど多くの樹木が並ぶ堀川沿いの遊歩道。夏にはセミの羽化の観察もできる。

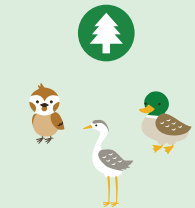


4 佐野こいの森緑地 (佐野一丁目31番11号)



鳥と人との「憩いの森」

多種、多数の樹木があり、秋にはたくさんのドングリを実らせる。森を散歩しながらコゲラなどの野鳥に出会える。



5 都市農業公園 (鹿浜二丁目44番1号)



野鳥観察だけじゃない

夏期を中心にダイサギやアオサギなどが観察できる。園内で栽培した無農薬野菜を使うレストランや四季折々の花も魅力。



6 新田わくわく♥水辺広場 (新田二丁目・三丁目地先)



木道から自然に触れあえる
池や湿地、草地といった多様な環境で、さまざまな生き物を観察できる河川敷の広場。木道も整備されている。



7 千住新橋緑地わんど広場 (足立一丁目・二丁目地先)



時にはハヤブサも!
草地やワンド、干潟などが多様な生き物を育てている。オオヨシキリや、ときにはハヤブサなども観察できる。



8 荒川ビジターセンター (千住五丁目13番5号)



生き物観察するならまずここ
荒川や河川敷の生き物について学べるだけでなく、体験イベントも実施。バードウォッチングデビューにはおすすめのスポット。



9 元漕江公園 (保木間二丁目17番1号) 【生物園】



「生物園」のある公園
生物園が併設されている公園。サクラやメタセコイアをはじめとした多くの樹木が楽しめる。池にはカルガモの姿も。



10 ^{ぬまこうえん やなか にちようめ ばん ごう} しょうぶ沼公園 (谷中二丁目4番1号)



^{がつ} 6月に「しょうぶまつり」開催 ^{かいさい}



^{しょうぶだ やく ひんしゅ} 5つの菖蒲田には約 140 品種

^{かぶ} 8,100 株のハナショウブが。

^{えんない} 園内のせせらぎにはカルガモ・

^{すがた み} オナガガモの姿が見られることも。



11 ^{ひがしあやせこうえん ひがしあやせいち に さんちようめ あやせさん ご るくちようめ やなか いっちようめ} 東綾瀬公園 (東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目)



^{まち かんさつ} 街ナカ観察スポット



^{こうえんにしがわ さんほみち そ} 公園西側の散歩道沿いに、か

^{のうぎようすい い} つでの農業用水を活かしたせ

^{なが} せらぎが流れている。豊富な

^{しよくつ やちよう かんさつ} 植物や、野鳥を観察できる。



12 ^{みぬまいしんすいこうえん とねり よんちようめ ばん ごちやほんちよう よんちようめ ばん} 見沼代親水公園 (舎人四丁目5番から古千谷本町四丁目8番)



^{おやこ} カモの親子がすぐそばに

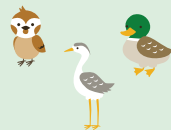


^{みずべ つど い もの しきおり} 水辺に集う生き物や四季折々の

^{はな たのしみながら さんさく} 花を楽しみながら、散歩できる。

^{はる なつ おやこ} 春から夏に、カルガモの親子が

見られることもある。



13 ^{かさいようすいしんすいする むつぎ さんちようめ ばん なかがわ よんちようめ ばん} 葛西用水親水水路 (六木三丁目38番から中川四丁目1番まで)



^{みず はぐく やちよう} 水が育む野鳥のごちそう

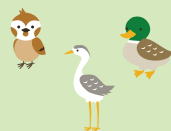


^{えどじだい のうごち かんがいよう} 江戸時代に農耕地の灌漑用につ

^{ようすい} くられた用水路。ゆったりとし

^{りゆうすいかんきよう ごさかな そだ さかな} た流水環境に小魚が育ち、魚を

^{ほしよく とり すがた み} 捕食する鳥の姿が見られる。



バードウォッチングの基本



りょうてが
あくように
リュック

時間帯

とり
鳥がよく動き、さえずりがよ
く聞こえる早朝がおすすめ

注意点

かんさつ
観察マナー (P5参照) を守ろう



ながそで
長袖
なが
長ズボン

持ち物

ほんさっし
・本冊子
「あだちの野鳥」

そうがんまよう
・双眼鏡
(あればもっと楽しい!)

ばいりつ
倍率 8~10倍、口径 20~
40ミリがおすすめ

P9②の施設では貸し出しも
しています



「ものさし鳥」を覚えよう

野鳥を大きさで見分ける際に基準となる鳥を「ものさし鳥」といいます。野鳥観察にとっても役立ちます。



スズメ
(約14.5cm)



ムクドリ
(約24cm)



ハト
(約33cm)



カラス
(約50cm)

「あだちで見られる野鳥」の見方 (凡例)

日本鳥類目録順に
紹介しています。

写真

ものさし鳥で
見た大きさ

この鳥が好む場所

このアイコンがあるバード
ウォッチングポイントを
P8~11でチェック!



ヒドリガモ

カラスと同じくらい
オスは黄色みがかかった額と茶色の頭、
胴体は灰色。メスの体は他のカモの
メスよりも赤っぽい。

冬
全長約49cm

主に見られる季節

大きさ
(平均的な成鳥)

特徴

カモ科



ヒドリガモ



全長約49cm

カラスと同じくらい
オスは黄色みがかった額と茶色の頭、
胴体は灰色。メスの体は他のカモの
メスよりも赤っぽい。



マガモ



全長約59cm

カラスと同じくらい
オスは頭が緑色で、白い首輪がある。
メスは全体的に褐色。「グエッグエツ」
と鳴く。

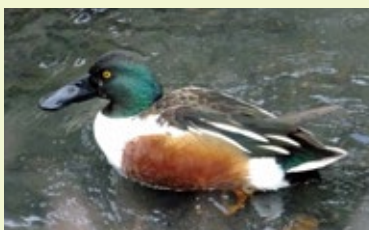


カルガモ



全長約61cm

カラスと同じくらい
カモの仲間では珍しく、オス・メス
ともに同じ色。一年中見ることがで
きる。「グエッグエツ」と鳴く。



ハシビロガモ



全長約51cm

カラスと同じくらい
オスは頭が光沢のある緑色で、メス
は体が明るめの褐色。嘴がスコップ
のような形をしている。

あ
だ
ち
で
見
ら
れ
る
野
鳥

カ
モ
科

★カモの仲間は、冬は一般的にオスが派手な色でメスは地味な褐色です。

カモ科



オナガガモ



全長約75cm

カラスより少し小さい(尾羽を含めない場合)

オスは頭があたま黒褐色、胸はむね白色。メスは全体的に茶色で細かい模様がある。
名前のおおりの、長い尾が特徴。



コガモ



全長約38cm

ハトと同じくらい

オスは頭が茶色で目のまわりが緑色。
メスは全体が褐色で細かい模様。
他のカモと比較すると小さい。



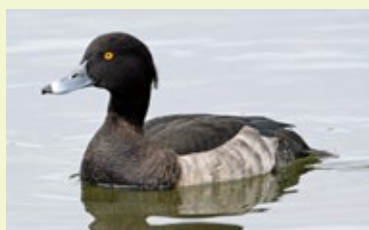
ホシハジロ



全長約48cm

カラスと同じくらい

オスは頭が赤茶色で、胸が黒色。メスは頭部から首と胸が褐色で、喉は淡い褐色。



キンクロハジロ



全長約44cm

ハトより大きい

オスは脇と腹が白く、その他は黒色。
後頭に垂れ下がった冠羽※がある。
メスは全体が黒褐色。

カイツブリ科、ハト科、ウ科



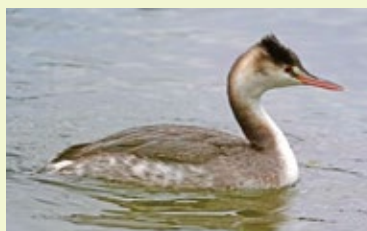
カイツブリ



全長約26cm

ムクドリと同じくらい

オス、メス同色。夏は顔から頭頂、後頸が黒く、頬から首横は赤褐色。冬は夏より淡い色になる。



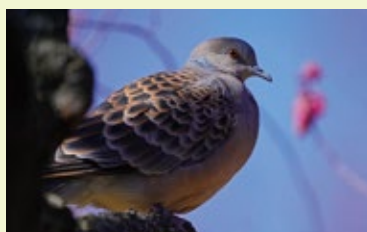
カンムリカイツブリ



全長約56cm

カラスと同じくらい

オス、メス同色。夏は顔から頭頂が黒い。顔の後方に黒と赤褐色の飾り羽。冬は顔の飾り羽がなく、冠羽も短い。



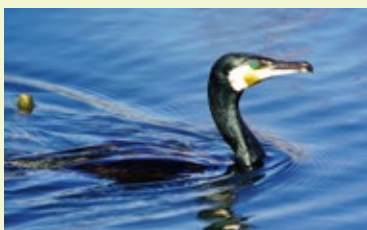
キジバト



全長約33cm

オス、メス同色

成鳥は頭部から背、胸からの体の下面はブドウ色を帯びた灰褐色。幼鳥は全体に褐色。



カワウ



全長約81cm

カラスより大きい

オス、メス同色。全体に黒色で、背や雨覆は光沢のある茶褐色。嘴は白く口角は黄色。

あちちで見られる野鳥

カイツブリ科
ハト科・ウ科

サギ科



ゴイサギ



全長約58cm

カラスと同じくらい

オス、メス同色。頭頂から背、肩羽は紺色で、後頭には白く細長い飾り羽が2本ある。



アオサギ



全長約93cm

カラスより大きい

オス、メス同色。額から頭頂と顔から前首は白く、目の上から後頭に黒線があり、後頭に長い冠羽がある。



ダイサギ



全長約89cm

カラスより大きい

オス、メス同色。全身純白。夏は嘴が黒く、胸や背に長い飾り羽。冬は嘴が黄色くなり、眼先も黄緑色になる。



コサギ

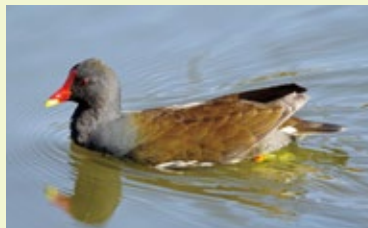


全長約61cm

カラスより大きい

オス、メス同色。全身が白く、1年中嘴が黒い。夏は後頭に長い冠羽が2本あるが、冬は冠羽がなくなる。

クイナ科・チドリ科



バン



全長約32cm

ハトと同じくらい

オス、メス同色。頭から体の下の部分は黒色で、やや灰色みがある。上の部分は緑褐色で、脇には白い斑点がある。



オオバン



全長約39cm

ハトより大きい

オス、メス同色。頭から体にかけて灰黒色で、嘴と額は白色。「キョン」「ピィッ」などと鳴く。



コチドリ



全長約16cm

スズメと同じくらい

オス、メスほぼ同色。オスは夏は目のまわりの黄色いリングが目立つ。嘴は黒く、足は黄色。冬は全体に褐色になる。



メダイチドリ



全長約19cm

スズメより大きい

オス、メスほぼ同色。夏は頭と胸が橙赤褐色で、冬はその部分が淡褐色になる。メスはオスに比べ色が淡い。

シギ科・カモメ科



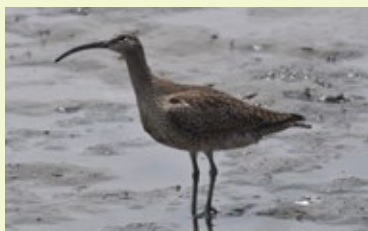
タシギ



全長約27cm

ハトと同じくらい

オス、メス同色。嘴が長く、背中の模様が枯草に似ている。泥の上や浅い水中で、嘴を垂直にさしこみ餌を探す。



チュウシャクシギ



全長約42cm

ハトより大きい

オス、メス同色。下に湾曲した嘴を持ち、頭中央に淡い色の線がある。泥の上や浅い水中を活発に歩き、餌を探す。



イソシギ



全長約20cm

スズメより大きい

オス、メス同色。尾をよく振る。夏は上面が暗い緑褐色で、冬は羽縁が白っぽくなる。



ユリカモメ



全長約40cm

ハトより大きい

オス、メス同色。嘴は細く足は長めで、赤い。冬は頭から体の下まで白く、夏は頭が頭巾状に濃い焦げ茶色になる。

カモメ科



ウミネコ



全長約47cm

カラスと同じくらい

オス、メス同色。尾の先に黒い帯がある。夏は頭から体の下面が白く、冬は頭に灰褐色の斑がある。



カモメ



全長約45cm

カラスと同じくらい

オス、メス同色。頭が丸く、嘴は小さい。嘴と足は黄色く、夏は頭が白くなる。



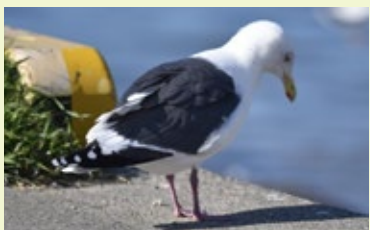
セグロカモメ



全長約61cm

カラスより大きい

オス、メス同色。冬は頭から胸に灰褐色の点々がたくさんあり、体の下は白い。夏は頭から胸が白くなる。



オオセグロカモメ



全長約64cm

カラスより大きい

オス、メス同色。セグロカモメに似ているが、成鳥の上面は濃い灰色。冬は頭から胸に灰色の斑がある。

カモメ科・タカ科



コアジサシ



全長約28cm

ムクドリと同じくらい

オス、メス同色。額は白く、頭から首の後ろ、目の横の線が黒い。嘴は細く、頭頂部はやや扁平。



トビ



全長約59cm

カラスより大きい

オス、メス同色。M形に切れ込んだ尾を持つ。成鳥は全体に茶褐色で、淡褐色の斑がある。



ツミ



全長約30cm

ハトと同じくらい

オスは額から体の上面が暗い青灰色で、顎より下の体は白く、淡い橙色。斑がないものとあるものがある。



オオタカ



全長約50cm

カラスと同じくらい

オス、メスほぼ同色。頭の上から体の上面は暗い青灰色で、足は黄色。

区内での観察は舎人公園がおすすめ!

カワセミ科、キツツキ科、ハヤブサ科、モズ科



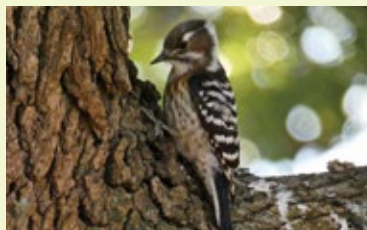
カワセミ

  通年

全長約17cm

スズメと同じくらい

オス、メスほぼ同色。頭あたまから体からだの上面じょうめんにかけて鮮あざやかな青緑あおみどりいろ色で、胸むねからは橙した色。嘴だいたいが大きい。おお



コゲラ

 通年

全長約15cm

スズメと同じくらい

オス、メスほぼ同色。額ひたいから体からだの上面じょうめんは茶褐ちやかっしょく色で、翼つばさはやや濃こい褐色かっしょく。オスこうとうの後頭りょうわきの両脇あかには、赤まだらい斑あかがある。



チョウゲンボウ

  通年

全長約33cm

ハトより大きい

オスは頭あたまと尾おの上面じょうめんが青灰あおはいいろ色で、メスとうちようは頭頂からだから体じょうめんの上面たんかっしょくは淡褐たんかっしょく色。ひらとひら飛ていくうび、よく低空飛翔ひしやうをする。



モズ

 通年

全長約20cm

スズメより大きい

オスは額ひたいから後首うしろくびにかけて茶褐ちやかっしょく色で、体からだの上面じょうめんは青灰あおはいいろ色。メスあおはいいろは体からだの上面じょうめんが褐かっしょく色。

あたちで
見られる
野鳥

カワセミ科・キツツキ科
ハヤブサ科・モズ科

カラス科、シジュウカラ科



オナガ

通年

全長約36cm

ムクドリより大きい

オス、メス同色。頭が黒く、翼と尾が青灰色で、尾が長い。「ゲェーイゲェーイ」「ギュイギュイ」と鳴く。



ハシボソガラス

通年

全長約50cm

オス、メス同色。

全身が黒色で、青紫色の光沢がある。ハシボトガラスよりも小さく、嘴は細め。



ハシボトガラス

通年

全長約56cm

オス、メス同色。

全身が黒色で、青紫色の光沢がある。ハシボソガラスよりも大きく、嘴は太く大きく湾曲している。



シジュウカラ

通年

全長約14cm

スズメと同じくらい

オス、メス同色。黒い頭と白い頬。胸から腹にかけて、ネクタイをしめているような黒い模様がある。

あだちで見られる野鳥

カラス科
シジュウカラ科

ヒバリ科、ツバメ科、ヒヨドリ科



ヒバリ



全長約17cm

スズメと同じくらい

オス、メス同色。頭に冠のような羽がある。頭から体の上面は茶褐色で、黒褐色の斑がある。



ツバメ



全長約17cm

スズメと同じくらい

オス、メスほぼ同色。額と喉が赤い。頭の上から体の上面は紺色から黒色。体の下面は白または淡褐色。



イワツバメ



全長約14cm

スズメと同じくらい

オス、メス同色。額から体の上面は紺色の光沢の混ざった黒色。顎から下は足まで白い羽毛におおわれている。



ヒヨドリ



全長約27cm

ハトより小さい。

オス、メス同色。全身が灰褐色で、額から首の後ろはボサボサしている。「ピーヨピーヨ」と甲高い声で鳴く。

あちちで見られる野鳥

ヒバリ科・ツバメ科
ヒヨドリ科

ウグイス科、メジロ科、ヨシキリ科、セッカ科



ウグイス



全年
全長約16cm

スズメと同じくらい

オス、メス同色。額から体の上面は
緑灰褐色。春は「ホーホケキョ」、冬
は「チャッチャ」と鳴く。



メジロ



全年
全長約12cm

スズメより小さい。

オス、メス同色。額から体の上面は
黄緑色で、顎から喉、尻からは黄色。
目のまわりが白い。



オオヨシキリ



夏
全長約18cm

スズメと同じくらい

オス、メス同色。上面は灰褐色で、
下面は淡い褐色。嘴は黒褐色で長め。
ヨシの生えた湿地を好む。



セッカ



全年
全長約12cm

スズメより小さい。

オス、メスほぼ同色。「ヒツヒツヒツ」
と鳴きながら上昇し、「チャッチャ、
チャッチャ」と鳴きながら下降する。

ムクドリ科、ヒタキ科



ムクドリ

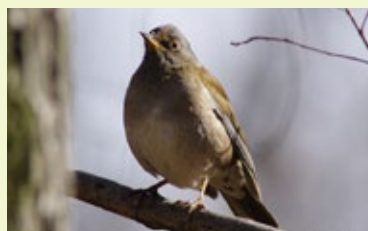


通年

全長約24cm

オス、メスほぼ同色。

オスは頭から胸が黒褐色で、メスよりも黒味が強い。橙色の嘴と白い頬が目立つ。



シロハラ



冬

全長約24cm

ムクドリと同じくらい

オス、メスほぼ同色。オスは頭が暗い灰褐色で、背以下の上、腹から脇は灰色または灰褐色。



ツグミ



冬

全長約24cm

ムクドリと同じくらい

オス、メスほぼ同色。目の上の白い筋模様が目立つ。翼を下げ、胸を反らせて地面に立つ。



ジョウビタキ



冬

全長約15cm

スズメと同じくらい

オスは頭の上が灰色で、額、顔、喉、背、翼が黒褐色、胸以下は赤褐色。メスは頭から上面が灰褐色で下面是淡褐色。

あちちで見られる野鳥

ムクドリ科
ヒタキ科

ヒタキ科、スズメ科、セキレイ科



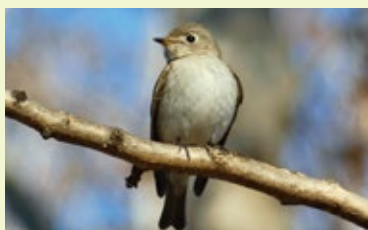
イソヒヨドリ

通年

全長約25cm

ムクドリおなと同じくらい

オスは頭あたまから胸むね、背せからの上面じょうめん、尾羽おぼねは青色あおいろ。下面かめんは赤褐色せきかっしょく。メスは全身ぜんしん灰褐色はいで、上面かっしょくには青みあおがある。



コサメビタキ

春 秋

全長約13cm

スズメおなと同じくらい

オス、メス同色どうしょく。頭あたまが暗い灰褐色くら はいかっしょくで、背せ以下いかの上面じょうめん、腹はらから脇わきは灰色はいいろまたは灰褐色はいかっしょく。



スズメ

通年

全長約14.5cm

オス、メス同色どうしょく。

頭あたまと背せは茶色ちやいろで、顔かおと腹はらは白しろい。人ひとの住すむところにはどこでも見みられ、種しゆし子しなどを食たべる。



ハクセキレイ

通年

全長約21cm

ムクドリよりちい小さい。

長い尾ながを上下おに振じようげる。オスの背せは、夏なつは黒くろくなる。主おもに川かわや海岸かいがんに住すみ、昆こんちゆう虫ちゆうなどを食たべる。

あだちで
見られる野鳥

ヒタキ科・スズメ科
セキレイ科

セキレイ科、アトリ科





セグロセキレイ      通年

ムクドリよりちい小さい。 全長約21cm

オス、メスほぼ同色。頭の上から体の上面、胸にかけて黒色。尾は黒く、外側が白い。濁った声で鳴く。






タヒバリ    冬

スズメと同じくらい 全長約16cm

オス、メス同色。夏は頭から体の上面は灰褐色、顎から下が淡い橙褐色。冬は額から体の上面が褐色、顎から下が淡褐色。





カワラヒワ      通年

スズメと同じくらい 全長約14cm

オスは顔が黒っぽく、頭は黄緑褐色。背以下の上面、胸以下の下面は茶色がかった緑色。メスは頭が灰褐色。



シメ   冬

スズメより大きい 全長約19cm

オスは眼先から顎が黒く、頭は淡い茶褐色。メスはオスよりも褐色みが強く、眼先から顎は灰黒色。嘴が太い。

あたちで
見られる
野鳥

セキレイ科
アトリ科

ホオジロ科



ホオジロ



全長約16cm

スズメと同じくらい

オス、メスほぼ同色。頭の上から体の上面、胸にかけて茶褐色。眉斑・頬・喉が白い。



アオジ



全長約16cm

スズメと同じくらい

オスは顔が黒く、頭の上から体の上面は暗い灰緑色で、顎より下は黄色。メスは頭の横の線が黒褐色。



オオジュリン



全長約16cm

スズメと同じくらい

オスは夏は頭、顎から胸は黒色で、首回りから下面は白い。メスは頭から体の上面が淡い褐色。

あだちで見られる野鳥

ホオジロ科

あだちく やちよう 足立区の野鳥についてもっと知りたい人は



あだちく 足立区のホームページから「足立区野鳥生息調査報告書」(動画：あだちの野鳥(動画配信サイトへリンク))などを見ることができます。
 ほんさつし ※本冊子では平成22年度から令和元年度までの10年間の調査で5年連続して確認できた野鳥のみを掲載しています。

さくいん

| | | | |
|-----------|----|----------|----|
| アオサギ | 16 | シメ | 27 |
| アオジ | 28 | ジョウビタキ | 25 |
| イソシギ | 18 | シロハラ | 25 |
| イソヒヨドリ | 26 | スズメ | 26 |
| イワツバメ | 23 | セグロカモメ | 19 |
| ウグイス | 24 | セグロセキレイ | 27 |
| ウミネコ | 19 | セッカ | 24 |
| オオジュリン | 28 | ダイサギ | 16 |
| オオセグロカモメ | 19 | タシギ | 18 |
| オオタカ | 20 | タヒバリ | 27 |
| オオバン | 17 | チュウシャクシギ | 18 |
| オオヨシキリ | 24 | チョウゲンボウ | 21 |
| オナガ | 22 | ツグミ | 25 |
| オナガガモ | 14 | ツバメ | 23 |
| カイツブリ | 15 | ツミ | 20 |
| カモメ | 19 | トビ | 20 |
| カルガモ | 13 | ハクセキレイ | 26 |
| カワウ | 15 | ハシビロガモ | 13 |
| カワセミ | 21 | ハシブトガラス | 22 |
| カワラヒワ | 27 | ハシボソガラス | 22 |
| カンムリカイツブリ | 15 | バン | 17 |
| キジバト | 15 | ヒドリガモ | 13 |
| キンクロハジロ | 14 | ヒバリ | 23 |
| コアジサシ | 20 | ヒヨドリ | 23 |
| ゴイサギ | 16 | ホオジロ | 28 |
| コガモ | 14 | ホシハジロ | 14 |
| コゲラ | 21 | マガモ | 13 |
| コサギ | 16 | ムクドリ | 25 |
| コサメビタキ | 26 | メジロ | 24 |
| コチドリ | 17 | メダイチドリ | 17 |
| シジュウカラ | 22 | モズ | 21 |
| | | ユリカモメ | 18 |

ぼくたちに
会えたら
ラッキーかも？

かわせみ



発行

足立区 環境部 環境政策課
〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1
電話 03 (3880) 5860 / FAX 03(3880)5604
令和3年2月 第1刷発行



足立区
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

足立区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支持しています。